

# 4/1 要支援 1・2 の方の 介護保険制度の一部が変わります！

問 介護福祉課 (☎ 82・3675 / IP ☎ 88・9088)

介護保険制度の改正に伴い、市では4月1日から、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、従来サービスの拡充を図り、地域包括ケアシステムの構築を目指した「介護予防・日常生活支援総合事業」(新しい総合事業)を開始します。

平成 28 年度までは  
(～H 29 年 3 月 31 日)

## 介護予防サービス

### 【内容】

- 訪問看護
- 訪問リハビリテーション
- 通所リハビリテーション
- 福祉用具貸与・・・ など

現行どおり  
今までと同様

- 訪問介護  
(ホームヘルプサービス)
- 通所介護  
(デイサービス)

「新しい総合  
事業」へ移行

平成 29 年度からは  
(H 29 年 4 月 1 日～)

## 介護予防サービス

今までと同様、変更はありません。

## 新しい総合事業

### 【内容】

- 訪問型サービス (ホームヘルプサービス)
  - ・身体介護型サービス  
(今までと同様、入浴、清拭、排せつなど、身体介護を行うサービス)
  - ・生活援助型サービス  
(洗濯、居室の掃除、一般的な調理などの生活援助のみのサービス)
- 通所型サービス (デイサービス)
  - ・通所型サービス (1日) (今までと同様、事業所によるデイサービス)
  - ・リハビリデイサービス (新)  
(運動機能向上訓練等に特化した半日のデイサービス)
  - ・ミニデイサービス (新) (事業所による半日のデイサービス)

### 【対象】

いずれも要支援 1・2 に認定されている方

※要介護に認定されている方のサービスは、今までと変更はありません。

**Q** 介護予防・日常生活支援総合事業 (新しい総合事業) とは？

**A** この事業は、団塊の世代の方々が75歳になる2025年(平成37年)を見据え、地域全体で高齢者を支えるとともに、高齢者が要介護状態になることを予防するためのものです。

**Q** 利用者負担は変わりますか？

**A** 今までは月当たりの費用を負担していただいていたのですが、新しい総合事業では、利用回数に応じた負担になるので、少ない負担で済む場合があります。

**Q** 新しい総合事業が開始されるとサービスは変わりますか？

**A** 現行のサービスは、そのまま継続して利用できます。また利用者の状況に応じた自立のためのプランに基づき、通所型サービスでは、半日のリハビリデイサービスやミニデイサービスを利用することができるようになります。

**Q** サービスを利用する場合の手続きや、要介護認定の方のサービスは変わりますか？

**A** 今までと変更はありません。

市内の空き家解消を目指します  
**空き家セミナーと  
相談会**

空き家でお困りの方向けの相談会を開催します。

市内でも空き家が増加していますが、適正な管理には早めの対策が必要です。空き家の管理や活用でお困りの方は、ぜひ、ご参加ください。

【日時】 3月25日(土)

○セミナー(予約不要)

午後1時～2時

○相談会(要予約)

午後2時15分～4時15分

【場所】 市役所 会議室

【主催】 NPO法人 空き家コンシェルジュ、宇陀市

※相談会には予約が必要です。前日までにご連絡ください。  
※相談会の日以外は常設の相談員がご相談をお受けしています。お気軽にご連絡ください。

### 【連絡先・受付時間】

NPO法人空き家コンシェルジュ  
橿原市小房町9-32

☎・FAX/0744・35・6211

月～土曜日 午前9時～午後5時

問まちづくり支援課

(☎ 82・3610 / IP ☎ 88・9099) (4)

健全な運営を目指して

# 宇陀市上水道事業と簡易水道事業を統合します

市では、水道事業として上水道事業（1事業）と簡易水道事業（18事業）の2つの水道事業を運営しています

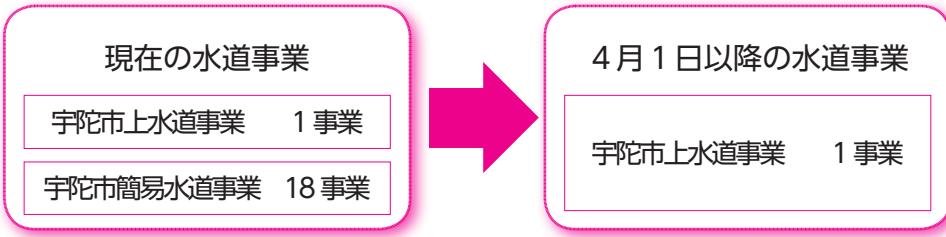
水道事業において、水道未普及地域の解消事業を進めながら、施設の統合や、効率的な経営体制の確立を図っていくことが課題となっていたことから、厚生労働省による方針を受けて平成21年度に「簡易水道事業統合計画」の策定を行い、事業統合に向けた取り組みを進めてきたもので、今年4月1日から簡易水道事業を上水道事業に統合して一つの水道事業として運営していくものです。

利用者のみなさんにおかれては、水道のご利用に関する手続きなどはこれまでと変わりはありません。

これからもご利用いただいているみなさんに「安心・安全な水の安定した供給」を目的として運営を行ってまいります。

今後水道事業に対し、ご理解ご協力をお願いします。

問 水道局総務課 (☎82・2185 / IP ☎88・9067)



※給水区域の人口が5,001人以上の場合は上水道事業、給水区域の人口が5,000人以下の場合は簡易水道事業となります。

## ■平成29年4月1日以降の水道料金（消費税抜き）

用途区分	メーター口径	基本料金 (1か月につき)		従量料金 (1㎡につき)	
		基本水量なし	基本料金	従量料金	基本料金
一般	13ミリ	8㎡まで	1,420円	9㎡～20㎡まで	1㎡につき 170円
	20ミリ	8㎡まで	2,150円	21㎡～50㎡まで	1㎡につき 210円
				51㎡～100㎡まで	1㎡につき 260円
	25ミリ	8㎡まで	3,400円	101㎡～500㎡まで	1㎡につき 320円
				501㎡以上	1㎡につき 380円
				1㎡～20㎡まで	1㎡につき 170円
	30ミリ	基本水量なし	5,950円	21㎡～50㎡まで	1㎡につき 210円
40ミリ	基本水量なし	11,900円	51㎡～100㎡まで	1㎡につき 260円	
50ミリ	基本水量なし	19,500円	101㎡～500㎡まで	1㎡につき 320円	
75ミリ	基本水量なし	30,200円	501㎡以上	1㎡につき 380円	
臨時	メーター口径に基づく額		1㎡につき	400円	

## ■簡易水道地域の料金改定について

平成27年から段階的に実施している簡易水道地域の料金改定については、平成29年4月利用分(5月分料金)の改定をもって市内水道料金は統一されます。(※上水道地域は変わりません)

【対象地域】大宇陀・菟田野・室生地域の全域と榛原檜牧乙地域

## 宇陀市まちづくり活動応援補助金の公開プレゼンテーションを開催

問 まちづくり支援課 (☎82・3910 / IP ☎88・9094)

市では、市民のみなさんの自由な発想、斬新なアイデアで、まちが元気になるように多くの方に喜んでいただけるような活動を行う市民グループやNPO、ボランティア団体等を支援するために、宇陀市まちづくり活動応援補助金事業を実施しており、平成29年度事業に応募いただいた事業について公開プレゼンテーションを実施します。

公開プレゼンテーションの様子は傍聴していただけますので、みなさんのお来場をお待ちしています。

昨年同様、今年も約10組の団体が応募する見込みで、地域に根差したまちづくりや地域産物の活用など、趣向を凝らした様々な計画が発表されます。今後のまちづくりの参考にお役立てください。

宇陀市 まちづくり応援 検索



昨年の様子はホームページでもご覧いただけます

- 【日時】 3月25日(土) 午前9時～11時45分
- 【場所】 市役所 会議室
- 【内容】 応募された団体が事業の内容を説明したあと、審査委員との質疑応答を行います。
- 【その他】 申し込み不要  
キッズルーム有り(事前申し込み必要)

特集

市政トピックス

うだごから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウエルネス

お知らせ

掲示板

うだチャン

# 県指定文化財に指定されました!

商文化財課 ☎82・3976 / IP ☎88・6665

2月に「飯降薬師の磨崖仏」と「片岡家文書」の2件が県指定文化財に指定されました。これで、市内の県指定文化財は、42件となります。

## 飯降薬師の磨崖仏

いぶりやくし まがいぶつ  
―室生向測(史跡)

磨崖仏は、岩面の中央部を幅約3.7m、高さ約4.5mにわたって平らにし、そこに複数の仏像を高く彫りしたものです。

全体として摩滅や剥落のため、像の詳細が判りにくくなっているものの、中央区に倚坐(いざ)腰を掛け、脚を下ろして座った姿勢)する二仏のうち東の如来(によらい)像の下腹部、西の如来像の腹部、東の菩薩の肩、東端に立つ眷属(けんぞく・神将形)の面相部などが良く残っています。

この磨崖仏は、これまで、奈良時代前半のものと考えられてきましたが、最近の調査で、飛鳥時代後半(白鳳期)に遡ることが明らかとなりました。県内では、類似する磨崖仏としては、奈良市所在の滝寺の磨崖仏(県史跡)、さらに石仏としては、桜井市忍阪の石造浮彫伝薬師三



飯降薬師の磨崖仏の一部(飛鳥時代)

以前、うだチャン11「まちのわだい」「古代の石仏・石塔を訪ねる」に同行しての番組で紹介しました。「メディアアネットうだ」ホームページでもご覧になれます。

メディアアネット 古代の石仏 検索

尊像(重要文化財)があります。全国的に見ても奈良時代以前に位置づけられる石仏は多くありません。飯降薬師の磨崖仏は、日本における磨崖仏の展開を知る上で重要な位置を占め、貴重な事例といえるでしょう。



岩壁に彫られた磨崖仏で覆堂が建てられている

## 片岡家文書―大宇陀田原(有形文化財・古文書)

片岡家の歴代の当主は、江戸時代には庄屋や大庄屋、明治時代以降には戸長(こちよう)や村長をはじめ様々な役職を務め、居宅(片岡家住宅)は、国の重要文化財に指定されています。

片岡家文書とは、当家に伝わる室町時代から昭和の文書群で、その数は、約1万3千点にも及びます。江戸時代の文書が最も多く、奈良奉行所・京都奉行所からのお触書、「春日若宮おん祭り」の負担に関する文書、「大塩平八郎の乱」や「天誅組の変」、「廃藩置県」などに関する

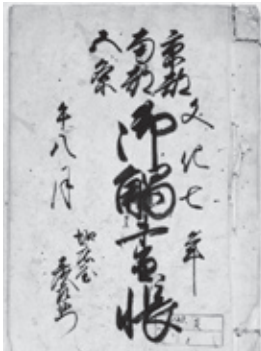
る文書などもあります。また、先々代および先代当主の日記などには、当時の世の中の動きが克明に記録されています。質、量ともに優れた県内屈指の村方文書(むらかたもんじよ)村で作成された文書類)として、高い価値があります。

以前、「広報うだ平成27年3月号」の特集で紹介しました。

「広報うだ」はホームページでもご覧になれます。

広報うだ 2015年3月号

検索



片岡家文書 御触書帳(文化7年・1810)

## 県指定文化財 指定記念展示 片岡家文書から見た地域の寺社

市では、歴史遺産伝承の一環として、片岡家文書調査委員会を設置し、平成24年度から27年度まで調査を実施してきました。

この調査によって、今まで部分的にしか知られていなかった文書群の全容が把握できるようになり、質・量ともに優れた県

内屈指の文書群で、高い価値を有することが明らかとなりました。

今回、これらが奈良県指定文化財となったことを記念し、展示会と講演会を開催します。

### 展示会

片岡家文書から見た地域の寺社

〔日時〕 3月15日(水)〜4月30日(日) 火曜・祝日休館

午前9時〜午後5時

〔場所〕 文化会館展示コーナー

### 歴史文化講演会

〔日時〕 3月26日(日) 午後2時〜3時30分

〔場所〕 文化会館 研修室

〔演題〕 中世末〜近世初期の地域社会と寺院

〔講師〕 元天理大学文学部教授 吉井敏幸先生

〔定員〕 70名



田原村絵図(明治5年・1872)

# 災害に負けないまちづくり

## 小学校で実践的防災訓練を実施！

問 教育総務課 (☎82・3973 / IP ☎88・9256)

今年度、奈良県の「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」のモデル校指定を受けた榛原小・榛原西小・榛原東小で防災訓練を行いました。

モデル校指定を受けた同校には「緊急地震速報受信システム」が設置され、今回は主に、そのシステムを利用した避難訓練と県防災会と県地方気象台から派遣された学校安全アドバイザーによる指導が行われました。

「緊急地震速報受信システム」は、携帯電話、スマートフォンなどで利用することができ、遠くで地震が発生した時に何秒か

後に地震が来ることを警報音で知らせるものです。

みなさん、携帯電話などでも何度か経験があるとおり、学校に設置したこのシステムも実際に地震が起きると、特殊な音で校内や運動場のスピーカーから流れ、校内の児童や周辺にも地震の発生を知らせてくれます。

今回の防災訓練では、実際にシステムの警報音を流し、その音と地震が来ることの意味を覚え、そこで「まず自分が何をすべきか」、そして「次に何をすべきか」、「どのように身の安全を守るのか」を体験の中で学びました。

今後、学校としても今回の経験を通じ、学校が取り組む避難訓練や危険等発生時対処要領、防災計画などの見直しや改善を図っていきます。

- ① 今回設置されたシステムは、基本的に携帯電話などの緊急地震速報と同じ仕組み。
- ② 警報音が聞こえると、落ち着いて落下物から身を護る行動を！
- ③ 揺れが収まれば、座布団や服などで頭をかばいながら、他人と押し合わないよう整列して避難！
- ④ 隠れる場所がない時は、両手で頭を覆い、手足をひっこめたダンゴムシの姿勢を！



# 奈良県×宇陀市×ロート製薬(株)

## 大和高原の魅力ある仕事づくりに

### 取り組んでいます

問 企画課 (☎82・1362 / IP ☎88・9074)



大和高原の魅力ある仕事づくりに向けた3者による「大和高原の魅力ある仕事づくり」に向けた協議を昨年12月、この3者による「大和高原の魅力ある仕事づくり」を締結

この協定により、食や農を中心とする地域資源を活かしたプロジェクトを立ち上げ、地域おこし協力隊制度の活用により、起業家を全国から公募・採用・育成し、起業に向けた支援を行っていくことになりました。

このプロジェクトでは、「養蜂」「オーガニックベビーフード」「ハーバルピール」「グリーンツーリズム」などをテーマとして、これまで起業家の募集に向けて、東京・大阪の都市圏で5回にわたる説明会を開催してきました。

パートナー、行政職員など関係者が一堂に集いプロジェクトについて説明し、より詳しくビジョンや目指すべき方向性、また具体的な条件や進め方などの実務的な情報を共有しました。説明会の開催やSNSなどによる積極的な情報発信により、多くの都市部の方々が興味を示し、2月1日現在で約40名の応募をいただいています。現在、随時面接を開催しており、2月中に起業家として活動いただく方々を決定し、4月以降から、実際に地域に移住・定住し、起業家としての活動を展開することになります。

魅力あるローカルビジネスの創出に向けて、また、農業とビジネス、地域づくりの新しいモデル事業となるように、これからも相互連携して積極的に事業展開していきます。また、今後の活動についても、広報などでお知らせしていきます。

宇陀魅力あるローカルビジネス 検索

平成の薬草のまちを目指して

# 大和当帰(ヤマトトウキ)栽培を推進しています

問 産業企画課 (☎82・5874 / IP☎88・9075)

現在、市では宇陀市薬草協議会が中心となって大和当帰の栽培を進めています。

1月中旬には、市内各地で収穫された大和当帰の根を集積し、大きさに応じて買取させていたいただきました。

2年目となるこの取り組みですが、今年は昨年の3倍となる約3tの根が持ち込まれました。中には1本1kgを超える大型のものも多く、出荷者同士で意見の交換し、栽培のコツや苦労話で盛り上がっていました。

今後、集められた当帰の根は薬草協議会が主体となって、2か月ほど乾燥させてから湯もみ作業を行い、再度乾燥させた後、生薬問屋などに販売される予定です。

市では、今後も大和当帰をはじめ、今後、市内の特産品として薬草を活用した6次産業化を目指し、市民の健康維持や生産者の所得向上を目指していきます。

昨年の経験も踏まえ、1kgを超える大きいのがたくさんできましたよ！仲間とも、当帰の植生や効率の良い栽培方法などの情報交換をしています。



栽培して2年目です。香りが苦手という方もいますが、私は以前から香草が好きなので全然平気です。当帰は葉っぱにも薬効があるので、どう活用しようかと日々考えることを楽しんでます。お茶やサラダにも使えますよ！



## 大和当帰苗の予約を受付します

昨年に引き続き、苗の配布を予定しています。栽培に興味のある方は宇陀市薬草協議会へご連絡ください。

栽培方法などについては、資料とともに説明させていただきます。



【対象】 市内で栽培される方  
※多数希望があった場合は、数量を限定する場合があります。

【配布価格】 1本10円

問 宇陀市薬草協議会(産業企画課内)

大和当帰・・・セリ科の多年草で、根は冷え性や血行障害の改善、強壮、鎮痛剤などの漢方「当帰」として処方され、主に婦人科系疾患に効果があるといわれています。

近年、葉は食材としての使用が認められたこともあり、現在、様々な活用方法が注目されています。

## 市長日記

地域に誇りと夢をもって



▼平成29年度予算案がまとまりました。概ね予定している事業を計上することができたと考えていますが、地域の要望全てに応えられている訳ではなく、特に新設する道路などは、関係省庁に要望しても20%程度しか予算の確保が出来ません。

▼予算要望する際には、どのようなまちづくりを行うのか？また、地域の協力が得られるのか？が問われます。事業に対する考え方も、色々あるかと思えますが、宇陀市の将来を良くするとの思いで、選択と集中による施策を推進していきますのでよろしくご理解いただきますようお願いいたします。

▼市長会長として、奈良県農政推進会議に出席しました。奈良県農業を考えた時、富有柿、アスカルビーなどはブランド化され収益力がありますが、圃場の規模、気候風土、歴史的な土地に対する想いなどがあり、品目によっては収益にはまだまだ届かないのではないかと思います。市場がグローバル化していく中で、価格競争には厳しいものがあり、農産物にどのような高付加価値を付けるのか、また、農業をもっと多角化して、観光、



1月、市長会長としてTV番組に出演。地方創生の意義や試みについてお話ししました。

▼福祉・教育の分野にも展開するべきであると意見しています。

▼政治・経済・人口などが、東京圏に集中し、地域で世代交代が進む中、生活様式や考え方も変わってきます。このようなときこそ、市民一人ひとりが、家庭を、地域を守り、育てる思いを持ち、共に生きる事が大事だと思います。

▼市では、雇用創出に努めるとともに、子どもたちの教育にも大きな支援を行っています。また高齢者に対する福祉の向上にも支援していますが、みんなが元気で働く、地域活動をするということにより、元気がでるのではないかと思います。今、何らかの行動をしなくては、夢は広がりません。自分たちの為にも行動することが必要です。

▼宇陀市のような自然豊かな、悠久の歴史の中で、生活している事が、素晴らしいと言える時がきつと来ます。

私たちのまち「高原の文化都市、四季の風薫る宇陀市」をみんなで創り、楽しませよう。

奈良県代表作品として

全国広報コンクールへ!!

問 秘書広報情報課 (☎ 82・3912 / IP ☎ 88・9083)

広報うだ7月号「特集・廣瀬さん宅の防災訓練」が平成29年全国広報コンクール奈良県代表作品として選ばれました!

県広報協会による作品審査では、「大地震から市民の命を守るのは、行政にとって最も重要なテーマ。防災意識をどう広め、防災・減災にどう備えるか。今回の「家庭での備え」に関する特集は、非常に親しみやすい内容になっている。

また、映像の部では昨年放送した宇陀市ホットニュース特別番組「がん検診を受けよう」を出展。残念ながら入選とはなりませんでした。

自分の家庭に置き換えて読める構成で、担当者のいいアイデア。グラツと来たら身を守り、その後どうしたらいいか、写真をふんだんに使ってわかりやすい。火事にならないよう、ブレイカーを切るなどの細部もおさえ、充実している。こういった市民目線のひと味違う特集が広報紙の魅力を高める。」



▲広報うだ7月号

全国コンクール「広報紙の部」への選出は、合併前も含めて初の快挙!

また、映像の部では昨年放送した宇陀市ホットニュース特別番組「がん検診を受けよう」を出展。

「市民と行政の有志で作る「がん検診受けよう」という告知番組。あえて、健診を受けにきた市民をたくさん登場させ、多くの市民に関心を持ってもらおうとした点は高く評価したい。市民による寸劇を入れるなど、親しみやすい映像にしよつという意図を感じた。」

と評価をいただきました。



▲特別番組「がん検診を受けよう」H 28.8月放送



広報うだ

検索

「広報うだ」や「うだチャン11」など、宇陀市の情報発信は、みなさんのご参加で成り立っています。これからも、応援よろしくお願ひします!



Kirari UDA-Bito

— 印傳 (いんでん) —  
 (印字して伝える技術。その発祥地と  
 思われる菟田野を大切にしたい)  
 現代の名工 印傳製造工 南浦 太市郎さん  
 (菟田野古市場)



**印** 傳 (いんでん) とは、なめした鹿皮に染色や文様を施す工芸技術のことです。奈良時代が始まりとされています。この職を始めたのは約40年前。前職で培った化学の知識と地場産業である毛皮革を活用できないかと考えたのがきっかけでした。

**独** 学で始め、日夜研究に明け暮れる中、煙でいぶして染色する「ふすべ技法」を習得できました。後日、それが奈良時代の古来の技術だったことを知り、驚きました。

この技法は、製造過程で煙に通すことで防虫や撥水効果が出て、素材自体の耐久性が高まるという、本来、武器の装備品の一つであった印傳工芸品の使用方法の理に叶ったものなのです。



正倉院所蔵の鞍のデザインをふすべ技法で再現した鞆

**私** はこの仕事のルーツを辿って行く中で、改めて地域の歴史や重要性を学び、誇りとロマンを感じています。昨年11月に厚生労働省「現代の名工」に選んでいただきました。古の技術の再現が目標。挑戦を続けていきます。

キラリ うだ人